

国際標準ID連携による訪日外国人むけMaaS利用拡大・地域観光需要創出及びオーバーツーリズム対策に資するデータ活用基盤構築事業 | トヨタファイナンシャルサービス株式会社

プロジェクト概要	本事業は、国際標準ID(GDPR対応)と連携したMaaS基盤(my route)を活用し、訪日外国人・国内観光客双方の円滑な移動と観光体験価値の向上を実現するものである。交通チケットに加え、観光・飲食・体験等の他分野コンテンツを横断的に連携し、「移動需要の創出と分散化(オーバーツーリズム対策)」を図る。		
課題	訪日外国人の増加に伴い、地域交通・観光地への集中が顕在化。MaaS利用拡大の鍵となる安全・簡便な本人認証(国際標準ID)、交通からエンドコンテンツまでのシームレスな提供、多様な事業者データの連携・活用基盤づくりが急務。交通単体ではなく、観光行動全体を設計するMaaSへの転換が必要		
取組内容	事業エリア	九州各県・富山・京都	
	交通事業者	九州MaaS参加交通事業者(JR九州、西日本鉄道、九州産交バス等) 京都 : 叡山鉄道 富山 : 富山地鉄、あいの風とやま鉄道、万葉線	
	MaaSアプリ等	MaaSアプリ・システム: my route	
	データの活用等	- データの取得方法: QRチケット、アプリ利用ログ、GPSデータ、デジタルIDウォレット - データの活用方法: 商品購入・利用の位置データを可視化・集計し、事業者のサービス企画改善、自治体の観光・交通施策の立案に活用訪日客の移動分析、BIツールでの可視化	
効果	座組		スケジュール
	全体統括・チケット販売 トヨタファイナンシャルサービス(株) システム提供 KINTO テクノロジーズ 認証システム・インバウンドInsight サーバー構築 大日本印刷(株) 共通予約システム提供 フォルシア		4~6月 要件定義 法規制調査 UIテスト・調査 コンテンツ調査
	交通事業者調整 九州MaaS協議会 チケット企画・造成 交通事業者 体験コンテンツ開発・提供 JTB 三重交通 カッセジャパン		6~10月 システム開発・コンテンツ造成
			9月~11月~ チケット販売対象国拡大 予約コンテンツ販売開始 データ分析によるPDCA実施
事業の新規性	- 国際規制に対応したな共通ID連携基盤を活用した利用登録システムをMaaSアプリに導入するのは本プロジェクトが初(先行としては、ホテルのチェックイン機能があり) - 日本発のデータ基盤により、インバウンド客マーケティングや、オーバーツーリズム対策への展開が可能(現状は、海外クレジットカード会社、OTAのデータに依存)		